

## 開催概要

日 時: 令和元年9月13日(金) 14:00~16:00  
 会 場: 伊勢市防災センター、宮川右岸4.2k 他  
 参加団体: 三重県、伊勢市、LINE株式会社、AI防災協議会、一般財団法人河川情報センター(12機関) (FRICS)、国立研究開発法人防災科学技術研究所(NIED)、国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT)、株式会社ウェザーニューズ(WNI)、ボイスアップラボ株式会社、国土交通省水管理・国土保全局、中部地方整備局、三重河川国道事務所  
 出 席: 鈴木伊勢市長 他 訓練参加者: 約200名



訓練開会式

## 目的・内容

- 【目的】「住民自らの行動に結びつく水害・土砂災害ハザード・リスク情報共有プロジェクト」の一環として、伊勢湾台風から60年を機に、三重県伊勢市をフィールドとして、情報を発信する行政(国土交通省・三重県・伊勢市)とSNS、AI技術を有する企業、研究機関等12機関が連携し、河川情報等の提供の充実を図り、住民の自らの避難行動や円滑な水防活動を支援することを目的とした現場実証を実施。
- 【内容】 1) 高齢者等の避難支援 (LINEを活用した逃げなきやコール)  
 2) 円滑な水防活動支援

SNS、AIの新技术を活用した避難情報のLINE発信や被害現場の写真をリアルタイムで共有していくシステムはすばらしいもので実用化に向けて期待していきたい。

(鈴木市長ブログより)

鈴木伊勢市長

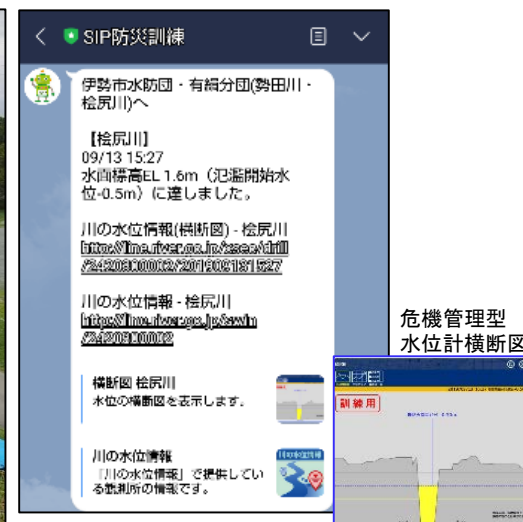
ねえ、クローバ伊勢市の防災情報につないで!

勢田川では、避難判断水位を超えており、現在も水位は上昇しています。お住まいの地区には、避難準備・高齢者等避難開始が発令されています。避難所、〇〇が開設されていますので、速やかに避難を始めてください。

AIアシスタント(Clova)を活用した高齢者等の避難支援



LINE等を活用した水防団・河川管理者からの現地情報の収集



LINE版防災チャットボット「SOCDA」を活用した防災情報の提供